

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	峯村 清一
	全体計画	平成30年度 ~ 令和 2年度			経費区分	実施計画事業費		内線	3622			
事務事業名	10721 文化施設整備事業											
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課											
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100609 教育費・社会教育費・文化施設管理費										
	事業	020000 文化施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
文化会館メセナホール等の文化施設の改修、修繕を進める。						文化会館メセナホール等の文化施設の改修、修繕を進めると共に、建築から20年前後を経過するため、大規模改修について検討を進める。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
メセナホール吸収冷温水機（R-2号機）修繕	メセナホールトイレ洋式化工事
平成29年度 実績	平成30年度 実績
メセナホール音響設備改修工事	メセナホールの長寿命化工事実施に向け、工事優先度調査及び基本設計を行い、今後の改修に向けて準備ができた。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
メセナホール長寿命化等工事 設計業務	メセナホール長寿命化等工事

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		885	6,954
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	6,300
	その他	0	0
一般財源		885	654
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,145.0	2,145.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,145.0	2,145.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		3,030.0	9,099.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	885	測量設計委託料885
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	5,820	測量設計委託料5,820
15節 工事請負費	1,134	アートパークトイレ改修1,134
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	文化芸術活動のため老朽化した施設の改修は必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	計画的な整備を進めているが、施設の老朽化に整備が追い付いていない現状もある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	今後の大規模改修に向け有利な財源を活用する必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

文化施設の計画的整備を行うが、老朽化した設備等の財源計画を含む計画的改修が課題。今後の施設のあり方としても人口減少社会に対応していく必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
優先順位をつけ施設の長寿命化を図る。大規模修繕が必要な施設については計画的修繕を行うとともに、文化施設のあり方を総合的に考え整備計画をたてる。		老朽化が進んでいるため、財源を確保し、長寿命化を図っていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	